

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社フジすまいるファーム飯山
住 所	長野県飯山市大字照岡 4 8 5 - イ
電話番号	0269-69-2055

事業所番号	2011300106
管理者名	高藤 勉
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 小林農園 銀杏農園施設外就労 5月、8月、9月 2日づつ 計6名 圃場除草作業 11月1日～20日 13名 収穫、洗浄、乾燥、出荷 飯山中央市場(株) 野沢菜新規出荷 地元名産の野沢菜生産者減少により、漬物原料が不足しており 生産の依頼があり、新規で取り組んだ	<活動の様子>  小林農園 銀杏収穫風景
<目的> ・ 農園経営者の高齢化と、収穫～出荷時の人手不足を理由として、経営継続を目的として実施 ・ 地元名産の「野沢菜漬け」の生産量を支えるため枝豆収穫後の圃場を活用し出荷を行った。	 自社圃場 野沢菜収穫風景
<銀杏成果> 収穫(銀杏拾い) は利用者にとって適正があり、利用者の新たな能力の発揮に貢献できた。 <銀杏課題> 将来的な事業継続を想定すると、施設外就労での対応では限界がある。 <野沢菜成果> 新規ではあったが14 t の出荷となった <野沢菜課題> 出荷時期等、他の作物と圃場管理が重なるため、作物全体の作付計画等の見直しが必要	 野沢菜の納品風景 3KG/束で出荷

連携先の企業等の意見または評価

銀杏評価	・ 経営責任者が84歳と高齢であり、事業そのものの継続が困難な状況である。 ・ 事業そのものを運営できないか依頼がある。		
銀杏課題	・ 経験と知識とが不足しており、何らかの形で連携できないか検討する必要あり。		
野沢菜評価	・ 初年度の取り組みであったが予想以上の納品があった。 ・ 次年度はさらに出荷量を増やしてもらいたい。		
野沢菜課題	・ 収穫規格を統一し、品質を安定させる必要がある ・ 漬物仕込の最盛期が11月1～20日であり、出荷時期を早めるための播種方法の改良が必要である。		
連携先企業名	銀杏(小林農園) ・ 野沢菜(飯山中央市場(株))	担当者名	小林國博、峰村雅一